

参加申込書

令和 年 月 日

(宛先) 京都市長

住所又は所在地

商号又は名称

代表者氏名

印

下記の業務に係る企画提案による業務受託候補者選定に参加したいので、募集要領に記載された事項について承諾のうえ、必要な書類を添えて申し込みます。

記

- 1 業務名称 令和8年度「カルチャープレナーの創造活動促進事業（カルチャープレナーアワード）」の企画・運営業務
- 2 担当者の連絡先
郵便番号
住所
所属
氏名
電話番号
FAX番号
メールアドレス

(様式2)

類似業務の実績

	(1)類似業務の名称	(2)実施期間	(3)業務概要
①			
②			
③			
④			
⑤			

(様式3)

見積書

令和 年 月 日

(あて先) 京 都 市 長

住所又は所在地

商号又は名称

代表者氏名

印

下記の業務に係る見積金額について、提出します。

記

1 業務名称

令和8年度「カルチャープレナーの創造活動促進事業(カルチャープレナーアワード)」
の企画・運営業務

2 見積金額

百万			千			円		

(うち消費税及び地方消費税相当額 円)

※ 金額の先頭に「¥」等を記入してください。

※ 応募者の様式による見積書(内訳付き)を別に添付してください。

(様式4)

誓 約 書

(宛先)	年 月 日
誓約者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	誓約者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) 電話 ー

暴力団排除条例第2条第4号に規定する暴力団員等に該当しないことを誓約します。				
誓約者並びに京都市暴力団排除条例第2条第4号イに規定する役員及び使用人並びに同号ウに規定する使用人が、同条第5号に規定する暴力団密接関係者に該当しないことを誓約します。				
誓約者並びにその役員及び使用人の名簿				
役職名又は呼称	氏 名	フリガナ	生年月日	性別

注 誓約者並びにその役員及び使用人の名簿の欄は、次に掲げる区分に応じ、それぞれ次に掲げる者について記入してください。

- (1) 誓約者が法人である場合 京都市暴力団排除条例第2条第4号イに規定する役員及び使用人 (市長等又は指定管理者が全ての使用人について記入することが困難であると認めるときは、市長等又は指定管理者が指定する使用人に限る。次号において同じ。)
- (2) 誓約者が個人である場合 誓約者及び京都市暴力団排除条例第2条第4号ウに規定する使用人

(様式5)
(表面)

調査同意書

(水道料金・下水道使用料)

(宛先)
京 都 市 長
京 都 市 公 営 企 業 管 理 者 交 通 局 長
京 都 市 公 営 企 業 管 理 者 上 下 水 道 局 長

年 月 日
____枚のうち____枚目

所在地	実 印
商号又は名称	
代表者の職・氏名	

京都市競争入札参加資格の審査及び資格有効期間中における資格の確認のため、水道料金及び下水道使用料の納付状況について、下記の内容に基づき、京都市が関係公簿を調査することに同意します。

記

1 調査対象となる水道使用者名義の有無の申告

- * いずれかの□に必ずチェックを入れてください。
- * 調査対象となる水道使用者名義が「ある」場合と「ない」場合の区別は裏面をご確認ください。

調査対象となる
水道使用者名義がある

調査対象となる
水道使用者名義がない



調査対象となる水道使用者名義がある場合は下記2に記入してください。

2 京都市の水道料金・下水道使用料のお客さま番号等

検針区	使用者コード	水栓番号	使用者名

注 検針区、使用者コード、水栓番号及び使用者名の欄は、「水道使用水量のお知らせ」に記載されている内容を正確に記入してください。

水道料金・下水道使用料の納付状況の
調査対象となる水道使用者名義の有無について

表面1の「調査対象となる水道使用者名義の有無の申告」については、下記の区別により、該当する方にチェックを入れてください。

「ある」に該当するときは、併せて、表面2「京都市の水道料金・下水道使用料のお客さま番号等」に、該当する事業所等のお客さま番号等を記入してください（詳しい記入要領は、「申請の手引」をご覧ください。）。

【調査対象となる水道使用者名義がある場合】

次の①及び②のいずれにも該当する場合

①

京都市内に事業所、事務所等（以下「事業所等」といいます。）があること。

② 当該事業所等の水道の使用者名義が、次にも該当すること。

法人の場合・・・法人名義（代表者の個人名義は含みません。）

個人の場合・・・代表者名義（親族名義等は含みません。）

* 使用者名義は、「水道使用水量のお知らせ」等で確認できます。

* 複数の事業所等がある場合は、そのうち一つでも上記に該当すれば、「調査対象となる水道使用者名義がある」にチェックを入れ、該当するすべての事業所等のお客さま番号等を記入してください。

【調査対象となる水道使用者名義がない場合】

上記に該当しない場合

- 例) ・ 京都市内に事業所等がない場合
- ・ ビル又はマンション等で家主に支払う賃借料（共益費）に水道料金等が含まれているなど、直接に水道の使用者名義になっていない場合
- ・ 工事現場等における一時使用（臨時栓を含む）